

平成30年度行政評価結果（後期基本計画 第4章第6節「地域間交流・国際交流」）

施策の位置付け	4	章	豊かな心と文化を育むまちづくり	節	6	地域間交流・国際交流
---------	---	---	-----------------	---	---	------------

■①施策に係る事業

No.	事業名	進行管理部会評価				市民意見	理事者評価	
		重要性 (平均)	手法の妥当性 (平均)	部会委員意見				
1	具体的施策No179 住民交流推進事業 (文化・スポーツ課)	非常に高い 	非常に低い 	非常に高い 	非常に低い 	①交流する事業の内容を、地域課題の解決に向けた公益性の高いものに移行してはどうか。 ②今のままでは、交流していることの意義が見出しにくい。 ③西京区以外の地域との交流事業は検討しているのか。	【課題】 西京区以外との交流も推進してはどうか。 【今後の方向性】 南丹市、京丹波町との2市1町との交流を軸に、新たな交流先を検討する。	
2	具体的施策No180 国際文化交流事業 (文化・スポーツ課)	非常に高い 	非常に低い 	非常に高い 	非常に低い 	①交流することの目的を明確にしてほしい。 ②市民のマイノリティーに対する理解に、どの程度貢献できているのか検証が必要。	【課題】 避難所等の看板表記が日本語のみのため、災害時に外国人が困るのではないかと。 【今後の方向性】 ・亀岡市在住の外国人を「国際タイムズ」で紹介したり、災害時に係る意見交換会を実施する。 ・ワールドフェスタについては、継続してほしい。	
3	具体的施策No181 姉妹都市交流事業 (文化・スポーツ課)	非常に高い 	非常に低い 	非常に高い 	非常に低い 	・ホストタウン事業終了後、そのような効果、遺産を残せるのか考え、今後のビジョンを示すべきである。	【課題】 ブラジル・ジャンヂーラ市との交流事業が少ないように思えるため、対応が必要。 【今後の方向性】 SNS等を活用して姉妹都市の様子を市民に発信することなどを検討していく。	
4	具体的施策No182 国際交流員活動事業 (文化・スポーツ課)	非常に高い 	非常に低い 	非常に高い 	非常に低い 	①「国際タイムズ」のWeb版があれば、もっと多くの方々に知ってもらえるのではないかと。 ②重要な事業であるが、市民全体に効果が見えづらい。学校現場での活用やもっと市政に反映できる物はないか。	【課題】 「国際タイムズ」のWeb版があれば、もっと多くの方々に知ってもらえるのではないかと。 ②重要な事業であるが、市民全体に効果が見えづらい。学校現場での活用やもっと市政に反映できる物はないか。	・亀岡国際タイムズは非常に読みやすく、わかりやすいので、今後も同じようにお願いします。
5	具体的施策No183, 289② 亀岡市交流会館運営事業 森のステーションかめおか コテージの新築及び拠点整備 (市民力推進課)	非常に高い 	非常に低い 	非常に高い 	非常に低い 	①事業を広報する方法について、もっと工夫して多くの人に知ってもらえるようにすべきであると思う。電話でしか受付できないのは疑問であるし、亀岡市外の人々がどのように「森のステーション」を検索するか意識して広報してほしい。 ②いずれは亀岡市を代表するような事業にしてほしい。	【課題】 広報の方法に工夫が必要なのではないかと。 【今後の方向性】 ・広報の手法について、SNSの活用等も含め検討していく。 ・地方創生事業で達成できなかったものについては、速やかに今後の方向性を定める。	

施策に対する市民意見	・国際交流・理解のプログラムも是非、学校に浸透してほしいです。京都市にならない学校の授業の一環として外国人を招いて、自国の紹介や学生との交流を行ってほしいです。子どもたちに視野を広げるきっかけを作り、学習の動機づけを高めることにもつながると思います。そういう経験が子どもたちの未来を変えるかもしれません。また、ホームページをもう少し充実させてほしいです。
<施策>改善すべき点	・全体的に、広報・広聴の手法に工夫が必要である。 ・市内に在住する外国人について、災害の際の避難所など、支援が期待しづらい時について工夫が必要である。
<施策>今後の方向性	・ふるさと納税を活用した子どもの姉妹都市等への派遣やサマーキャンプについても検討してはどうか。